

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	きらめきキッズ	公表日	令和7年 4月 1日
------	---------	-----	------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		個別訓練ができるように環境設定を行っています。	時間、活動内容、指導員の配置等を工夫して個別活動を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	8		支援ができるように人員配置をしています。	・職員の数配置は適切であるが、職員の急な休みで指導員が足りない場合は他事業所からの応援で対応してま す。支援は差支えがないようにしていますが、保護者確認の元、送迎の協力を頂いています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		写真や絵カードを活用したり、 児童の特性にあった環境設定を行っています。	活動によって児童が集中しやすい環境設定を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		ホール、中庭が広く見守りがしやすく、 活動によって仕切りを付けたり子供たちが安心できる環境設定を行っています。	活動に合わせてマットなどを活用する等、 児童が清潔に心地よく過ごせるように清掃、 室内環境を常に意識します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個別活動ができる空間作りを提供しています。	日によっては数名の児童の個別の空間が必要になるのでパーテーションで空間を作るなどの工夫をしていきたいと思ひます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		終礼で振り返り支援について話し合いを持っています	朝の申し送りや前日の振り返り、 今日の活動や支援について話し合っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		貴重な意見を参考に改善に繋げています。	意見箱を設置や保護者からの意見を伺い速やかに対応できるようにしています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		事業所会議を週に1回行い、 意見を出し合って業務改善に努めています。	会議に参加出来なかった職員のものには時間をみて意見を聞き共有するようにします。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	違う部署の職員に評価してもらっています。	第三者による外部評価は行っていない為、 保護者からの意見を参考に改善をします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		社内での研修、又は事業所での勉強会を行っています。	事業所内で勉強会を開催します。 また外部の研修にも積極的に参加してきます。
その他	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		毎月プログラムを作成し保護者に配布しています。	今後も質を保護者が満足いくプログラムを作成します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		保護者からアセスメントの聞き取り、 計画案をもとにチームで話し合い支援計画書の作成を行っています。	保護者と情報共有のニーズの変更があったり 場合には計画書を柔軟に見直ししていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		アセスメント、計画案をもとに個別支援会議を行い児童発達支援計画書を作成しています。	定期的に評価をしスモールステップで 成功体験ができる支援計画の作成をします。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		定期的にケース会議を行い支援の方向性を確認している。	今後もケース会議で情報共有したうえで 個別支援計画の作成を実施していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		フォーマルなツールをつかったアセスメントは出来ていないが、日々児童の行動観察などを行い職員間で共有確認しています。	皆様のご協力に感謝いたします。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		児童発達支援ガイドラインの「本人支援」「家族支援」「移行支援」具体的に支援計画書を作成しています。	児童発達支援ガイドラインの支援内容と計画に基づいてサービスの提供をしていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		チームで話し合い五領域を組み込んだ活動プログラム立案を行っています。	児童の特性や発達段階に合わせ、 工夫した活動内容を充実させていきます。

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2	児童が楽しんで参加できるように工夫しています。	プログラムの曜日が固定にならないようにしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		児童の特性や発達段階に合わせた活動内容で計画しています。	集団活動と個別活動がバランス良く出来る様に工夫していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼でその日の利用児の確認と活動内容、役割分担を確認しています。	出勤時差があり朝礼に参加できない職員は申し送りノートやその日のリーダーが役割を伝えるようにしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終礼を行っています。	終礼に参加できなかった職員には申し送りノートで共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		毎日の記録を取り必要に応じて話し合い今後に向けて記録を取るようになっています。	課題がある時は話し合い支援方法を見直してする必要があります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		相談員と連携し定期的にモニタリング会議を行っています。	保護者、関係機関と常に情報共有を行い児童の成長、変化があった場合には柔軟に支援の見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達管理責任者が参加しています。	児童発達管理責任者もしくは児発官研修が参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		利用児童が併用している地域の保育園、幼稚園と情報共有を行っています。	積極的情報交換会に参加していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	利用児が併用している保育園、幼稚園へはモニタリング会議を通して情報共有支援内容を共有しています。	保護者理解のもと利用児の次年度予定の保育園、幼稚園へ積極的に交流を行い情報共有を行います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	相談員を通して行っています。	移行先の小学校へ積極的に支援の情報交換をしていけるようにします。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	8	スーパーバイザーから意見を頂いてない。	今後はセンターとも連携をとるよう努めます
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		年に3回地域の保育園、幼稚園と交流を行っています。	地域の公園や児童館などにも積極的に行き利用児童が安心してできるように支援していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時の申し送りや今日の出来事共有を行っています。	定期的に保護者面談を行い現在の状況、課題の確認を行っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	市町村のペアレントトレーニングがあった時には保護者に情報提供を行っています。	現時点ではペアレントトレーニングという形ではありませんが、必要に応じて適切な支援が出来る様にしていきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明を行っています。	契約時に説明していますが、定期的な説明と保護者から不明な点があった時には対応します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		アセスメントから保護者のニーズを聞き取り計画	定期的なアセスメントを行い保護者と支援の優先順位の確認共有していきます。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		「児童発達支援計画」は保護者に説明を行い同意を頂いています。	今後も丁寧な説明を行います。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		定期的にお茶会や面談を行っています。	定期的にお茶会や面談は継続し、いつでも相談できる環境を整えていきたいと思えます
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2	親、兄弟、家族が参加できるイベントを年に数回開催しています。	親の交流会は積極的に行っていますが、兄弟児の交流をメインとした交流会の開催を検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		保護者からの相談に迅速な対応をおこなっています。	いつでも保護者が相談がしやすい環境を整備します。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月、保護者あてにプログラムを作成し発行しています。連絡や本日の活動内容はLINEを通して発信しています。	今後もプログラム作成、活動内容の発信を継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報、重要書類は鍵付きキャビネットに保管しています。	鍵付きキャビネット以外にもPCなど機器類のパスワード設定にも工夫します。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		絵カードなど視覚的アプローチなど工夫しています。	児童の特性に応じたツールをさらに開拓していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	行事は家族参加型です。地域住民を招待しての行事は行ってません。	秋祭りやイベントを開催できるように検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3	社内のマニュアルをもとに訓練を行っています。	職員間で実施しているので訓練等を保護者へ周知していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPを策定し変動があった時には更新しています。定期的に避難訓練行っています。	今後も定期的に避難訓練を行います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		契約時に健康状態の確認をしています。	児童の健康状態は常に保護者と共有しています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		契約時にアレルギーの有無の確認をしています。	アレルギーのある利用児がいれば厨房と連携を取っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画書は無いです。朝礼で本日の活動の確認、安全を考慮した支援を行っています。また、ヒヤリハットが起きた時には迅速に改善に取り組んでいます。	安全計画の作成を行っていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2	ヒヤリハットが起きた時には保護者に連絡しています。	ヒヤリハット後の取り組み内容までは報告してないので今後は取り組みます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		事例集を作成し今後の対策を話し合っています。	職員全員がいつでも振り返り確認しやすくする為に他場所を決めています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		職員研修に組み込まれています。	どのような行動が虐待に繋がる恐れがあるのか定期的に話し合っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		保護者には契約時に説明を行い理解してもらっている。	どのような場合に行うかの説明を再度確認してもらっています。	